



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



12 RESPONSIBLE CONSUMPTION AND PRODUCTION

2021年夏
オンライン留学

Sustainable Development
Goals Plus Program

SDGs目標12 つくる責任つかう責任

主催:タイ・チェンマイ大学
語学研究所

プログラム概要説明動画



<https://youtu.be/2LWed2BOibM>

SDGs(持続可能な開発目標)の17の目標

このプログラムでは「目標12 つくる責任つかう責任」を学びます

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



Sustainable Development Goals plus Programとは

☆チェンマイ大学語学研究所は、今夏、2015年に国連で採択された「**持続可能な開発目標 (SDGs)**」について詳しく学ぶプログラムを実施します。

☆現在、多くの機関や企業、団体がその活動にSDGsを位置づけており、**SDGsの知識や技能**は、これから仕事や生活をする上で必要不可欠なものとなっています。

☆このプログラムは**国立六大学※の学生に公開**し、持続可能な開発のために必要な目標についてその重要性も含めて英語で学びます。

※国立六大学・・・千葉大学、新潟大学、金沢大学、岡山大学、長崎大学、熊本大学

☆17の目標のうち「**目標12 つくる責任つかう責任**」を取り上げ、専攻分野を問わず学生が参加できるようわかりやすく解説します。持続可能でよりよい世界づくりに必要な様々な課題について英語で学ぶことで、学術面のみならず英語力(特にスピーキングとボキャブラリー)の向上も期待できます。

☆本プログラムは、**オンライン(Microsoft Teams, Zoom)**を使って行われます。新型コロナウイルス感染拡大のために当面海外留学ができないことを考えると、**海外の大学の授業を受講したり、海外の学生たちとつながる貴重なチャンス**になります。

本プログラムに参加して、有意義な
2021年の夏休みを過ごしませんか。



ハローキティがSDGs目標12を応援

<https://www.youtube.com/watch?v=m5alzF9f0V8>

プログラム概要



☆日程

2021年8月30日(月)～9月10日(金)

計10日間、9月4日(土)、5日(日)は休日

☆授業内容 計25時間

1. 英語で学ぶ SDGs目標12 (1回2時間×10回=20時間)

SDGs目標12について英語で学び、SDGsに関する学習をするとともに、国際共通語としての英語の運用能力を高めます。前半1時間はSDGsに関する講義、後半1時間は講義をもとに学生同士が英語でディスカッションすることを中心に構成されます。また、関連する用語を解説して、関連した知識とボキャブラリーを増やします。

2. グローバル・カフェ with Chiang Mai University students (1回1時間×5回=5時間)

チェンマイ大学の学生とオンラインを通じて英語での会話を楽しみます。クラスはインストラクターがリードし、毎回テーマを決め、会話を通じて英語のスピーキング能力を高めます。

☆授業はオンライン(**Microsoft Team, Zoom**)を使って行われます。受講前に、パソコン(デスクトップ or ラップトップ)、ネットワーク接続(有線 or Wi-Fi)、Zoomのアプリのダウンロード、など ネットワーク環境の準備をしておいてください。なお、受信できる場所であればどこからでも参加できます。

☆受講修了した学生には**履修証明書**が発行されます。

スケジュール

12 つくる責任
つかう責任



*日程:2021年8月30日(月)~9月10日(金)

*関連するSDGsのゴール 目標12 つくる責任つかう責任

第 1 週		第 2 週	
8月30日 (月)	11:00-13:15 英語で学ぶSDGs目標12① 18:00-19:00 グローバル・カフェ① (アイスブレイキング)	9月6日 (月)	11:00-13:15 英語で学ぶSDGs目標12⑥ 18:00-19:00 グローバル・カフェ④
8月31日 (火)	11:00-13:15 英語で学ぶSDGs目標12②	9月7日 (火)	11:00-13:15 英語で学ぶSDGs目標12⑦
9月1日 (水)	11:00-13:15 英語で学ぶSDGs目標12③ 18:00-19:00 グローバル・カフェ②	9月8日 (水)	11:00-13:15 英語で学ぶSDGs目標12⑧ 18:00-19:00 グローバル・カフェ⑤
9月2日 (木)	11:00-13:15 英語で学ぶSDGs目標12④	9月9日 (木)	11:00-13:15 英語で学ぶSDGs目標12⑨
9月3日 (金)	11:00-13:15 英語で学ぶSDGs目標12⑤ 18:00-19:00 グローバル・カフェ③	9月10日 (金)	11:00-13:15 英語で学ぶSDGs目標12⑩

※12:00-12:15 休憩時間

応募要項



★募集人数:12名程度(最小催行人数8名、最大16名)

★対象:学部生

- *SDGsに関心のある方
- *実践的な英語をマスターしたい方
- *タイの学生との会話・交流を楽しみたい方
- *海外留学に近い体験をしたい方

★英語基準:下記のスコア以上

TOEIC500相当(英検2級、TOEFL-iBT47、IELTS4.5)

★使用言語:英語

★使用アプリ:Microsoft Teams, Zoom等

★費用:7,150バーツ(25,025円)*

※1バーツ=3.5円に換算した場合(振込時点の為替レートを確認してください)





申込方法



[申請書はこちらから](#)

Step 1: 申請書の記入・提出(千葉大学)

次のURL <https://forms.gle/tJSqjDbctTKJjQaQA>

または右側のQRコードからプログラムの申請書(Google application form)アクセスし、必要事項を入力して千葉大学・織田宛に送信してください。

※申請書への入力事項 氏名(漢字・ローマ字)、E-mailアドレス、所属大学、所属学部・学科、学年、性別、現在保有の英語試験のスコア

※emailで問い合わせをする場合がありますのでご注意ください。

申請締切 2021年5月24日(月)午後5時まで

Step 2: 参加確定の連絡および申請書の記入・提出(チェンマイ大学)

チェンマイ大学と調整して参加者を決定し連絡します。参加者にはチェンマイ大学に提出する申請書をお知らせしますので、必要事項を入力(英語)してチェンマイ大学に送信してください。

参加者の決定・連絡 申請後すみやかにemailにて連絡します。

チェンマイ大学への申請締切 2021年6月15日(火)午後5時まで

Step 3: プログラム費用の請求

申請書の提出後チェンマイ大学からemailでクレジットカード決済のURLが送られてきます。

プログラム費用 **7,150バーツ (25,025円)※**

※1バーツ=3.5円に換算した場合(振込時点の為替レートを確認してください)

Step 4: プログラム費用の支払い (クレジットカードでの支払いになります)

請求書が到着したら期日までにプログラム費用を振り込んでください。振込後、**振込証明書**と**自分のパスポートの写真のあるページのコピー(PDF or 写真)**をemailにてチェンマイ大学に送信してください。

チェンマイ大学email licmuinternational@cmu.ac.th

チェンマイ大学への費用支払締切 2021年6月30日(水)午後5時まで

Step 5: 受入確定・領収書

費用の振込を確認後、チェンマイ大学は受入確認のemailを費用の領収書と一緒に送付します。

Step6: オンライン環境の設定

チェンマイ大学は、オリエンテーションのためのZoomのURLを送ります。受領後「メディア・リリース・フォーム」に入力してチェンマイ大学に送信してください。授業はMicrosoft TeamsからZoomリンクが送られます。

Step7: オリエンテーションとアイスブレイキング

プログラムに関するオリエンテーションをZoomにて開催しますので、**必ず参加**してください。

オリエンテーション 2021年8月26日(木)(16.00-17.30)

《注意事項》

- (1)チェンマイ大学からのemailが迷惑メールフォルダーに行ってしまうことが稀にありますので、メールが期日までに届かない場合にはそちらもご確認ください。
- (2)Step5(受入確定・領収書)後は、振り込みのあった**プログラム費用は返金できません**のでご注意ください。

注目

本プログラムのプロモーションビデオを視聴できます。

<https://www.youtube.com/watch?v=MrXTEivF81k>



目標12. つくる責任、つかう責任

持続可能な生産消費形態を確保する

12 つくる責任
つかう責任



ターゲット

- 12.1 開発途上国の開発状況や能力を勘案しつつ、持続可能な消費と生産に関する 10 年計画枠組み(10YFP)を実施し、先進国主導の下、すべての国々が対策を講じる。
- 12.2 2030 年までに天然資源の持続可能な管理及び効率的な利用を達成する。
- 12.3 2030 年までに小売・消費レベルにおける世界全体の一人当たりの食料の廃棄を半減させ、収穫後損失などの生産・サプライチェーンにおける食料の損失を減少させる。
- 12.4 2020 年までに、合意された国際的な枠組みに従い、製品ライフサイクルを通じ、環境上適正な化学物資やすべての廃棄物の管理を実現し、人の健康や環境への悪影響を最小化するため、化学物質や廃棄物の大気、水、土壌への放出を大幅に削減する。
- 12.5 2030 年までに、廃棄物の発生防止、削減、再生利用及び再利用により、廃棄物の発生を大幅に削減する。

出典:「我々の世界を変革する 持続可能な開発のための2030アジェンダ」(仮訳) 外務省

<https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sdgs/pdf/000101402.pdf>



- 12.6 特に大企業や多国籍企業などの企業に対し、持続可能な取り組みを導入し、持続可能性に関する情報を定期報告に盛り込むよう奨励する。
- 12.7 国内の政策や優先事項に従って持続可能な公共調達慣行を促進する。
- 12.8 2030年までに、人々があらゆる場所において、持続可能な開発及び自然と調和したライフスタイルに関する情報と意識を持つようにする。
- 12.a 開発途上国に対し、より持続可能な消費・生産形態の促進のための科学的・技術的能力の強化を支援する。
- 12.b 雇用創出、地方の文化振興・産品販促につながる持続可能な観光業に対して持続可能な開発がもたらす影響を測定する手法を開発・導入する。
- 12.c 開発途上国の特別なニーズや状況を十分考慮し、貧困層やコミュニティを保護する形で開発に関する悪影響を最小限に留めつつ、税制改正や、有害な補助金が存在する場合はその環境への影響を考慮してその段階的廃止などを通じ、各国の状況に応じて、市場のひずみを除去することで、浪費的な消費を奨励する、化石燃料に対する非効率な補助金を合理化する。

ご参加
お待ちしております！



Use natural resources efficiently & manage them sustainably.



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

#GlobalGoals